

会長あいさつ(櫻井俊寛会長)

はい。創生会議の会長の櫻井でございます。本日は暑い中、また雨の中ですね、足元の悪い中ご参集いただきましてありがとうございます。

昨年度も7月の連休明けでございましたので、ちょうど1年ぶりの会議になると思います。コロナウイルスの感染症も、インフルエンザ等々の5類に移行して2ヶ月ぐらい、イベントや買い物、食事など様々、通常に戻りつつあると感じられ、長期化した感染への不安からも少しではありますけれども、解放されたのかなという感じがします。

今後、何かしていこうと先を考えることができるようになったのではないかなと、多少嬉しく思っている感じでございます。ただ、原油物価高騰の影響は続いてますし、九州、または最近ですと北の大雨による被害なども大変な状況ですので、他人ごとではない、どこにでも発生する状況でもありますし、暮らしの不安というものは尽きないものと考えております。

私事になりますが、商工会長を仰せつかっておりまして、今年は桜まつりが4年ぶりに開催されまして、そちらの方の実行委員長も務めさせていただきまして、時期は桜の花の持ちの関係でどうしても時期・期間はちょっと短かったんですけども1日の観桜者数というのは多分過去最高だったのかなっていうぐらいの1日の来場者の数があつたかなと思います。

またお盆前に、例年ですと、おおがわら夏祭り・花火大会というのがございましたが、今年に関しましては、おおがわら夏祭りということで、花火大会という副題はつけず、ということで結局先ほどご質問あつて、どこであげるんですか、と言うんですが、上げることは上げるんですけども、夏祭りというものをメインで、桜祭りをした会場で、お昼過ぎから様々なイベントをやりまして、夜のフィナーレとして、多少花火を打ち上げさせていただくという形で今年の大河原の夏祭りは考えております。

こちらの実行委員長をさせていただいております。仕事と、いろいろとですね慌ただしい中でございますけれども、夏のにぎわい、多くの方と共感できるものと期待感も膨らんでいるところでございます。そう考えますと町全体にも、まちづくりにも期待感が感じられることが大切ではないかと思っております。

この会議の大元の計画、大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各政策も、地方創生に向けたまちを形づくるために必要な政策ばかりですので、委員の皆さんにはそのような期待感という視点を持って、評価いただければと思っております。

本日は令和4年度の地方創生の事業実施が、予定通り進んだのか、その進捗内容を確認するための会議となっております。併せて令和5年度が始まっていますが、今年度の予定を把握しながら、大河原町の地方創生に対しまして、ご意見をいただきたいと思います。

また、7月初めに町が実施した地区懇談会の資料の説明もございますので、その点につきましてもご意見をいただきたいと思いますと思っております。

本日の会議は90分を超えないコンパクトで内容の濃いものとして、事務局に進め方を工夫していただきたいと思いますのでどうぞよろしく申し上げます。以上です。